

# 災害事例報告（不休）

登録番号	20-030			登録日：2021年2月22日		
会社名	( 支部)		発生日時	2020年 6月 5日 18時頃		
発生場所	矯正定盤					
被災者	氏名	A 氏	年齢	28歳	役職	一般
	直外区分	外注	勤務経験	1年5ヵ月	作業経験	1年5ヵ月
傷病名	右太腿挫創				休業日数	0日
災害の概要	矯正定盤上にて、手に持ったグラインダが、右太腿にあたり被災。				災害類型	⑥

災害状況	8:00	被災者は始業（TBM）ミーティング終了後、通常作業開始。 （保護具：安全帽子・飛来防止めがね・耳栓・防塵マスク ・長皮手袋・安全靴（長）・甲プロテクター）
	18:11	被災者は、定盤にてロンジ端部をガス溶断器にて溶断。 溶断作業後、次の仕上げ作業のためしゃがんだまま、自分の斜め後ろの床にあった、グラインダを手に取った。 グラインダ施工位置を目視で確認、ポジション移動のため立ち上がった際、右手に持ったグラインダを握りしめてしまい、動き出したグラインダの反動で回転していた、砥石が右太腿に接触し被災。
	18:20	救急車要請、救急搬送
	18:39	搬送先病院にて診察および処置。 （処置：傷口、消毒 8針縫合 処方：痛み止め、抗生物質）

発生状況図・写真

＜発生状況図＞

被災者A (Red star icon)  
作業員B (Green star icon)  
作業員C (Blue star icon)

北 ↑

(組立ライン)

(矯正定盤)

被災状況

ロックレバー (安全装置)

被災時のグラインダ

見守りカメラ画像

原因	<p>グラインダの持ち方が悪かった。 取扱時の姿勢が悪かった。 グラインダの安全装置が経年劣化していた。</p>	<p>・作業は必ず身体の正面で行うことを指導。（6月10日） （後ろ向きで物を取ったり作業したりしない） （身体の正面で、目視で確認しながら作業する） ※作業範囲＝身体の正面90°内</p>
対策	<p>メーカーによる、取り扱い指導。 作業は、身体の正面で行うよう指導。 安全装置のメーカー点検を実施。</p>	<p>安全作業標準記載</p>

【災害類型】 ⑥切れ・擦れ ⑦熱傷 ⑧感電 ⑨火災・爆発 ⑩その他